

立命館 言語文化研究

18巻4号

目次

特集

公開シンポジウム プロジェクトA2

英語教育とコーパス

ワークショップ

英語発見学習のためのコーパス……………梅咲敦子 (3)

シンポジウム：言語理論と英語教育、そしてコーパスの融合を目指して

はじめに……………堀田秀吾／中村純作 (35)

教室で使える文法—日英語発想の違いを考える—……………中田好則 (39)

学習者音声コーパスから見えてくるもの……………朝尾幸次郎 (67)

英語教育における仮定法教育の問題点……………野村忠央 (79)

現代英語の語彙的・構文的事象……………村田勇三郎 (95)

質疑応答……………(127)

プロジェクトA3

日本人の国際移動研究会

2006年度研究経過報告

日本人の国際移動プロジェクトの概要と目標……………米山 裕 (141)

フィールドワーク—強制収容体験と日系コミュニティ、日系アイデンティティ—…和泉真澄 (143)

資料調査—火災保険地図の歴史地理学的活用—……………河原典史 (145)

資料調査—日本から移民を海外に送り出した諸組織や団体—……………坂口満宏 (149)

フィールドワーク—韓国全羅北道への大分県民の入植—……………轟 博志 (151)

資料調査—National Archives と Bancroft Library における日本人移民史関係資料—
……………ハヤシ ブライアン・マサル (153)

理論的検討—移民エスニシティ—；資料調査—ロサンゼルス再定住期—
……………南川文里 (155)

資料調査—ハワイにおける「第二世問題」—……………物部ひろみ (157)

資料調査—満州国における日本人アメニティ（娯楽・遊興）—……………山崎有恒 (159)

資料調査—名簿、住所録、年鑑などのデータ化と利用—……………米山 裕 (161)

個別論文

- 数量詞の重ね型“一CC”と“一C一C”について……………張 恒悦 (163)
- 「権原証書」研究の現状と問題点—植民地時代後半メキシコ中央部の事例を中心に—
……………井上幸孝 (179)
- ゲームの中のゲーム—ドイツ語履修学生自身により作成されたドイツ語学習ゲーム—
……………Beate MÜLLER (197)
- 罪とゆるし—『カラマーズフの兄弟』を読む—(前編)……………井田俊隆 (211)